

デザイン図鑑

(建築知識・別冊)



- デザイン図鑑（4冊）は、設計事務所に入っははじめに買った本です。木づかひの教科書のような本です。（和風・木・木製建具・緑のデザイン）図面を書く際にはCADであれば先輩の書いた図面のコピーができるので自分の知らない言葉も貼りつけてました。中壱、四分一、鳥の子紙・・・、それで後で、自分の知らない言葉を図面に書くな、とよく怒られました。
- 和風のデザインのはじめに、和風考を吉田桂二さんが書いています。学校の建築教育が見捨てたこと、和風の多彩、民家の歴訪をすすめます。そして伝統文化の華を止揚すること、とあります。

【止揚（しよう）】とは

- ・あるものを、そのものとしては否定するけど契機として保存し、より高い段階で生かすこと
- ・矛盾する諸要素を、対立と闘争の過程を通じて発展的に統一すること



- 1. 和風のデザイン図鑑・・・設計の基本と納まり（意匠・しつらい・造作）
構・工法編として基礎・木組み等、造作・仕上げ編には、屋根・床・座敷・床の間・建具・玄関廻り・庭・茶室・和風材料図鑑…と、和風のおおむねが網羅されています。その用語の多さにも伝統を感じます。
- 2. 木のデザイン図鑑・・・設計の基本とディテール（建築・インテリア・家具）
世界の木材マップや、木構造・仕口、納まり・建具。家具・塗装の設計・施工ガイドなどが掲載してあります。
- 3. 木製建具のデザイン図鑑・・・建築空間と建具の意匠・納まり（框戸・フラッシュ戸・棧戸・紙貼障子・襖）
木製建具だけで1冊。木材の種類・障子紙・襖紙・引手・縁・框戸・フラッシュ戸・舞良戸・格子戸・雨戸・網戸・紙貼障子・ふすま・欄間、参考建具表もたくさん掲載されています。
いまは既製品の多くある木製建具ですが、すこし建具にお金がかげられると内装がグッと引き締まります。
- 4. 緑のデザイン図鑑・・・配植のテクニックと作庭の手法（樹木・植栽・庭づくり）
庭木です。世界の庭から日本の住宅・集合住宅の配植手法、植栽図鑑、石組・垣根・茶庭など。なかなか作り込むことはないのですが…。最近、お寺の回廊が垣根の役割だったと知りました。回廊の中央壁や格子を取り払い（列柱だけ残る形）椅子をならべて儀式を見学したようです。お隣や道路との境界は、コミュニケーションを生んだりばんだり、人を迎えたり、遮ったり、大切なところ。 （案内：黒野）

